

10月20日 バレホ市親善訪問団歓迎会を開催。



歓迎会で和太鼓を体験

10月22日 バレホ市親善訪問団サヨナラパーティーを開催。明石姉妹都市協会会員、中学生親善訪問団員が参加のもと、親善を深める。

## 2004年（平成16年）

2月24日 明石-バレホ「姉妹都市提携35周年親善訪問団報告書」作成。

4月19日 バレホ市よりケイ・フラベル氏が来明、市内小中高校などを見学。



大久保南小学校を見学

8月28日 明石市民まつりにおいて、明石姉妹都市協会とともにバレホ市のPRとカリフォルニアワイン等グッズの販売を行う。



市民まつり「姉妹都市協会コーナー」

11月1日 明石市制施行85周年記念式典において、インテントリー市長から寄せられたお祝いのメッセージビデオを披露。

## 2005年（平成17年）

6月20日 明石姉妹都市協会の丸山克氏夫妻がバレホ市を親善訪問し、交流を深める。

9月10日 明石市民まつりにおいて、明石姉妹都市協会とともにバレホ市のPRとグッズの販売を行う。

12月 「明石・バレホライティングプロジェクト2005」により、両市市民47名がそれぞれの半世紀を綴ったライフストーリー（自分史）の文集（日英対訳）を発行。

文集を執筆した明石のメンバー  
—明石市内

### 明石、バレホそれぞれの戦後

## 米姉妹都市と文集

両市の市民47人が執筆  
日、英訳収録166頁

進める「明石姉妹都市協会」（伊原界会長）は、両市の六十五歳以上の高齢者が半世紀をつづいた文集を発行した。太平洋戦争や世界大恐慌の下、日米市民の暮らしぶりが伝わってくる。文集作りは、バレホ市姉妹都市協会のドロシー・クリスチャン会長が昨年二月、「互いのライフストーリーを書き記して交流したい」と、明石姉妹都市協会に提案して始まった。伊原会長とクリスチャン会長がそれぞれ、知人を通じて執筆者を募ったところ、教育関係者やシニア・カレッジメンバーなど日米合わせて四十七人が執筆に参加した。両国の執筆者が読めるように、明石通訳ボランティアが編集を手助けし、日本語、英語をそれぞれの記事も掲載した。文集では、太平洋戦争中、空襲で米軍機に銃撃され死を覚悟した体験談や、大恐慌下の一九三〇年代のアメリカで父親が職を失い転居を迫られた苦い思い出などが語られる。市民の日常生活が記録され、日本の文化や歴史を知ることができる内容になっている。

伊原会長は「文集のように、形として残る交流は初めての試み。内容的にも面白いものになった」と話している。A4判で五十六頁、四百部発行、希望者に一部五百円で販売。詳しくは同協会事務局 ☎914・6594（植田治男）

神戸新聞 2006.1.1

## 2006年（平成18年）

3月30日  
4月1日  
バレホ市よりイクコ・ギヤスキンス氏が来明、明石姉妹都市協会会員宅でのホームステイを通じて交流を深める。

## 2007年（平成19年）

2月22日 姉妹都市・友好都市との交流を含め、諸外国住民との幅広い交流と地域国際協力の推進を図る明石市国際交流協会が設立される。明石姉妹都市委員会は同協会に役割を引き継ぎ、2007年3月末をもって発展的に解消。

5月17日  
20日  
バレホ市にあるカリフォルニア・マリタイム・アカデミー（州立海事大学）の練習船ゴールデン・ベア号が20年ぶりに神戸港に寄港。



明石城武蔵の庭園にて茶道体験

11月11日 明石市民まつりにおいて、明石姉妹都市協会とともにカリフォルニアロールの販売、パネル、チラシ、クイズ、絵葉書などでバレホ市のPRに努める。

11月13日  
18日 姉妹都市提携40周年記念事業事前協議団4名及び明石姉妹都市協会役員3名がバレホ市を訪問し、40周年事業について協議する。



神戸新聞 2007.5.17

5月18日 ダニエル・ワインストック船長をはじめ、ゴールデン・ベア号関係者12名が来明、北口寛人市長を表敬訪問。市内見学のほか明石姉妹都市協会関係者と交流を深める。



バレホ姉妹都市関係者との事前協議

2008年（平成20年）

40TH ANNIVERSARY

- 1月24日 オズビー・デビス氏がバレホ市長に就任。  
明石市からお祝いのメッセージを送る。
- 8月6日 姉妹都市提携40周年を記念して、エリン・  
ハニガン市議会議員を団長とするバレホ市親  
善訪問団46名（内バレホ市高校選抜チームメ  
ンバー13名）が明石市を訪問。記念祝賀会に  
参加したり、親善高校野球試合で交流を深め  
る。



親善高校野球試合



祝賀会で記念品交換

- 10月23日 姉妹都市提携40周年を記念して、北口寛人  
市長と寺岡登史市議会議員が、崎野圭子明石  
姉妹都市協会会長を代表とする明石市民交流  
団とともに、総勢32名でバレホ市を訪問。ホ  
ームステイやホームビジットを通じて交流を深  
めるとともに、記念絵画の除幕式などの行事  
に参加し、記念の年を祝う。



明石市民交流団

2009年（平成21年）

- 1月5日 バレホ姉妹都市協会役員のアン・リグダさん  
が1月2日に逝去され、明石市から感謝とお  
別れのメッセージを送る。
- 3月8日 春旬祭において、明石姉妹都市協会とともに  
カリフォルニアロールの販売、パネル、ちら  
しなどによりバレホ市のPRを行う。
- 11月1日 明石市制施行90周年記念式典において、デ  
イビス市長から寄せられたお祝いのメッセ  
ージビデオを披露。

2010年（平成22年）

- 3月7日 春旬祭において、明石姉妹都市協会とともに  
カリフォルニアロールの販売、パネル、ちら  
しなどによりバレホ市のPRを行う。
- 7月29日 平成22年度明石市青少年親善訪米団一行21名  
8月4日（中学生7名、高校生11名、引率3名）がバ  
レホ市を訪問。ホームステイや交流プロ  
グラムを通じてバレホ市民と交流を深める。



明石市青少年親善訪米団

## 2011年（平成23年）



バレホ市の学生と昼食交流会

- 7月29日 崎野明石姉妹都市協会会長がバレホ市を訪問。
- 8月1日 関係者と交流を深めるとともに、明石市長とバレホ市長の協議に通訳として同席。
- 8月1日 北口市長をはじめとする2名がバレホ市を訪問。
- 8月8日 デイビス市長と青少年派遣等について協議するとともに、明石市青少年親善訪米団のさよならパーティーに出席し、関係者と交流を深める。



バレホ市関係者と協議

- 8月24日 日米草の根交流サミット・サンフランシスコ・ベイエリア大会が開催され、咸臨丸150周年記念行事などが行われる。明石市からも市民3名が訪米し、ソラノ郡地域分科会に参加。バレホ市でのホームステイプログラムなどを通して交流を深める。

- 3月6日 春旬祭において、明石姉妹都市協会とともにカリフォルニアロールの販売、パネル、ちらしなどによりバレホ市のPRを行う。



春旬祭「姉妹都市協会コーナー」

- 3月11日 東日本大震災が発生バレホ市より明石市へ多くの方々からお見舞いと激励のメッセージが届く。
- 6月13日 デイビス市長から泉房穂市長就任のお祝いメッセージが届く。
- 7月27日 平成23年度明石市青少年親善訪米団一行14名
- 8月3日 (中学生7名、高校生4名、引率3名) がバレホ市を訪問。ホームステイや交流プログラムを通じてバレホ市民と交流を深める。



バレホ市の学生と交流

- 9月3日 元バレホ市姉妹都市協会のデイビット・J・リンクエストさんが9月3日に逝去され、明石市から感謝とお別れのメッセージを送る。

11月22日 泉市長から、デイビス市長へ市長就任のお祝いメッセージを送る。

## 2012年（平成24年）

3月11日 春旬祭において、明石姉妹都市協会とともにカリフォルニアロールの販売、パネル、ちらしなどによりバレホ市のPRを行う。

9月29日 バレホ姉妹都市協会50周年を記念して、全米国際姉妹都市協会からバレホの6つの姉妹都市を表現したモニュメントが贈られ、その除幕式が開かれる。泉市長と崎野明石姉妹都市協会会長の連名でお祝いのメッセージを送る。



バレホ市姉妹都市協会50周年記念モニュメント

## 2013年（平成25年）

### 45TH ANNIVERSARY

1月12日～18日 元バレホ市親善訪問団員のマイク・シェリーさん一家4名が船で世界一周旅行の途中に明石市を訪問。明石姉妹都市協会役員の家でホームステイしながら市内外を観光。

1月17日 明石姉妹都市協会新年会において、明石に滞在中のマイク・シェリーさんが「SHERYS ABROAD - シェリー一家の世界一周 -」と題して講演会を開催。

8月6日～10日 崎野明石姉妹都市協会会長がバレホ市を訪問。関係者と交流を深めるとともに、明石市和田満副市長とバレホ市長の会談に同席。

8月6日～10日 和田副市長をはじめとする2名がバレホ市を訪問。45周年を祝うとともに、明石市青少年親善訪米団の歓迎式に出席し、関係者と交流を深める。

8月6日～10日 山崎雄史市議会議長をはじめとする2名がバレホ市を訪問。45周年を祝うとともに、関係者と交流を深める。



バレホ市と記念品交換



バレホ市議会議場にて対面式

8月6日～12日 平成25年度明石市青少年親善訪米団一行19名（中学生9名、高校生6名、引率4名）がバレホ市を訪問。ホームステイや交流プログラムを通じてバレホ市民と交流を深める。



明石市青少年親善訪米団

## 2014年（平成26年）

- 9月29日  
10月2日  
日米草の根交流サミット・サンディエゴ大会が開催され、バレホ市での2泊4日のポスト・サミット・オプション・プログラムに、明石市からも市民9名が参加。ホームステイプログラムなどを通して交流を深める。
- 11月1日  
明石市制施行95周年記念式典において、デビス市長から寄せられたお祝いのメッセージビデオを披露。

## 2015年（平成27年）

- 9月4日  
7日  
デビス市長を団長とするバレホ市親善訪問団4名が来明。ホームステイを通じて交流を深める。



市民宅で交流会



浴衣を着てさよならパーティーに出席

## 2016年（平成28年）

- 4月25日  
5月7日  
バレホ市よりミラー氏夫妻が来明。姉妹都市提携30周年の来明時に結婚式を挙げた柿本神社を再訪問するとともに、ホームステイを通じて交流を深める。



市関係者への表敬訪問

## 2018年（平成30年）

### 50TH ANNIVERSARY

- 2月14日  
姉妹都市交流に尽力されたデジー・クリスチャンさんが2月9日に逝去され、明石市から感謝とお別れのメッセージを送る。
- 7月13日  
17日  
ロザーナ・ベルタ・アリガ バレホ市議会議員を団長とするバレホ市親善交流団一行21名（バレホ市民交流団13名、バレホ市女子高校生バスケットボール交流団8名）が明石市を訪問。姉妹都市提携50周年記念式典に出席するとともに、ホームステイやバスケットボールを通して市民間交流を深める。
- 8月16日  
21日  
泉房穂市長を団長、穂原成人市議会議長を副団長とする明石市公式訪米団一行9名がバレホ市を訪問し、記念式典に参加。バレホ市内を視察するとともに関係者と親善を深める。
- 8月17日  
23日  
明石市青少年ジャズダンス訪米団一行24名がバレホ市を訪問。記念式典に参加するとともに、ジャズダンス公演やホームステイを通して交流を深める。